

山口大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の問合せ先までお申出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

① 研究課題名	経鼻加湿急速送気換気交換装置（Transnasal Humidified Rapid-Insufflation Ventilatory Exchange：THRIVE）を用いて帝王切開の迅速導入を行った症例における酸素化		
② 実施予定期間	実施許可日 から 2026年11月30日		
③ 対象患者	対象期間中に当院で全身麻酔下に帝王切開を受けられた患者さん		
④ 対象期間	2022年12月1日 から 2024年5月31日		
⑤ 研究機関の名称	山口大学医学部附属病院		
⑥ 対象診療科	産婦人科、麻酔科蘇生科		
⑦ 研究責任者	氏名	奥 朋子	所属 手術部
⑧ 使用する試料・情報等	研究対象者の識別コード、年齢、身長、体重、BMI、ASA physical status、原疾患、合併症、既往歴、妊娠週数、筋弛緩薬投与から挿管終了までの無呼吸時間、挿管5分前から挿管1分後までの酸素化予備能指標（ORi）値と経皮的酸素飽和度（SpO ₂ ）の値、挿管直後第一呼気の呼気終末二酸化炭素濃度、入室時・無呼吸開始時・挿管時の収縮期血圧・拡張期血圧・心拍数、導入中の誤嚥の有無		
⑨ 研究の概要	<p>全身麻酔下で行う帝王切開は緊急性が高い状況で行うことが多く、十分な全身評価、絶飲食を行う猶予がない状況で、迅速導入という方法で麻酔の導入を行うこととなります。妊婦は低酸素におちいりやすく、気道確保が困難な場合もあるため、麻酔導入中の酸素化の維持が母体、胎児にとって重要となります。</p> <p>近年、無呼吸中の酸素化の維持に、THRIVEが有用であるという研究報告が見られるようになりました。帝王切開の迅速導入でTHRIVEを用いて導入した症例において、SpO₂とORiを用いて、麻酔導入開始時から無呼吸時間を経て挿管に至るまでの酸素化を調査します。</p>		
⑩ 実施許可	研究の実施許可日	2023年11月14日	
⑪ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。		
⑫ 結果の公表	学会や論文等で公表します。		
⑬ 個人情報の保護	結果を公表する場合、個人が特定されることはありません。その他、山口大学医学部学生の自己開発の研究テーマとし、学内で発表、学術雑誌等で		

	公表します。		
⑭ 知的財産権	山口大学に帰属します。		
⑮ 研究の資金源	奨学寄附金		
⑯ 利益相反	ありません。		
⑰ 問い合わせ先・ 相談窓口	山口大学医学部附属病院 手術部 奥 朋子		
	電話	0836-22-2525	FAX 0836-22-2675